

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

D1 GRAND PRIX 2025 シリーズチャンピオンを獲得!



チーム トヨタイヤドリフト
Team TOYO TIRES DRIFT 所属
ドリフトドライバー

ふじのひでゆき
藤野秀之さん

熟練のスキルで
3度目の王座獲得

深谷市出身の藤野秀之さんは、ドリフト（タイヤを滑らせながら走る走法）の国内最高峰の競技『D1 GRAND PRIX*』の2025年シーズンチャンピオンの栄冠を手に入れました。競技は、年間を通じて6～10戦が開催され、1台で走る『単走』と2台で走る『追走』の2種目の得点で競い、華麗なテクニックとギリギリの攻防が見どころです。

2025年シーズンの最終戦で、わずかに1点差で逆転して3度目のチャンピオンとなった藤野さん。勝てば王座獲得となる決勝戦では「チャンピオンを取りたいと思うと焦りが出るので、意識せずに走り切りました。」と、経験から得た感情のコントロールが結果につながったといいます。車が大好きで、20代後半から競技人生をスタートした藤野さん



▲白煙を上げながら大迫力のドリフトを披露し、会場を沸かせる藤野さん

さんは、現在、公道を走るラリーで優勝するなど、ドリフト以外のレースでも結果を残しています。レースの魅力について「レースは、メカニックなどのメンバーのサポートが必要な競技なので、チームでレースをつくり上げて、それが結果につながるが一番楽しいですね。」と話す優しい表情からは、仲間を大切にしたい気持ちが伝わります。

今後について「一番は、若い世代を育てたい。」といい、また「レース経験があるからこそ、車両の安全な運転方法を熟知しているので、それを子どもたちに伝えて、車好きが増えてほしいです。」と話します。そして、自分自身の目標を『おじさんの希望になること』と語る藤野さんは、これからも熟練のスキルでレースを走り、周囲を熱くします。

※『D1 GRAND PRIX』は、ドリフトの迫力や美しさをポイント化して競う、高い安全基準が設けられているJAF公認の競技です。

男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気で笑顔で参画するまち ふかや
個人権政策課 ☎ 574 - 6643

深谷市女性活躍等推進事業所として、新たに『株式会社ホームズ訪問看護』『医療法人社団優慈会 佐々木病院』を認証しました



深谷市では、女性の活躍や仕事と家庭の両立支援など職場における男女共同参画の推進に積極的に取り組む事業所を『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証する制度を設けています。

このたび、新たに認証事業所として『株式会社ホームズ訪問看護』『医療法人社団優慈会 佐々木病院』の2事業所を認証しました。

深谷市では、今後も女性活躍等を推進する市内事業所を認証し、深谷市の女性活躍と男女共同参画の推進が図られるよう支援していきます。



これまでに『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証した17事業所

- 深谷赤十字病院 たつみ印刷株式会社 パーカーアサヒ株式会社 三菱電機ホーム機器株式会社
- カヤバ株式会社熊谷工場 古郡ホーム株式会社 医療法人好文会 社会福祉法人邑元会あかつき
- 株式会社UACJ 深谷製造所 社会福祉法人埼玉のぞみの園 株式会社大慶堂
- 株式会社LIXILサンウエーブ製作所深谷工場 リケンテクノス株式会社埼玉工場
- 社会福祉法人両宜会特別養護老人ホームひびき 株式会社モテギ 株式会社ホームズ訪問看護
- 医療法人社団優慈会佐々木病院

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩



151 鹿島古墳群（深谷市本田地内）

今回は鹿島古墳群に来たよ～！埼玉県指定史跡として6世紀後半から8世紀初頭までに造られた小さな円墳が56基保存されているんだあ。ロウバイや桜の木がたくさん植えられている名所でもあるんだよ。さっそく行ってみよ～！



▲敷地の北東には、約170本のロウバイが植えられているよ。近づくと甘くて優しい香りがしてくるよ。癒やされる～。



▲4月には桜も咲くよ！足元には菜の花も咲いて、とってもキレイなんだよ～。家族やお友達と一緒に花見をするのもいいねえ～。



▲御朱印の古墳版の『御墳印』だよ。市内の道の駅で購入できるよ！

ふっかちゃんの つぶやき

春は出会いと別れの季節、寂しいけどこれからすてきな出会いがあるはず！卒業するみんなおめでとう～♪
Y(o≧ω≦o)Y



心の広場



川本南小学校3年
町田 泰誠さん

コンビニでの事

ある日の学校帰りに、おばあちゃんとコンビニに夕食を買いに行きました。夕食に牛どんとアイスとのみものを買いました。お母さんとお兄ちゃんの分も買って、もう買うものはないかなと思いながら、レジをまわっているとおばあちゃんが、「もう全ぶ買えた？」と言ったので、ぼくは、「もう買うものはないよ。」と答えました。レジをまわっているのはつまらないなと思って、前にいたおばあさんがレジでお金をはらっていると、お金を出すのに時間がかかっていました。ぼくは、「早くしてくれないかな。」と思っていました。前にいたおばあさんが、「おそくてごめんね。」

と言ったので、ぼくは、分かっているなら早くしてと、心の中で思っていました。けれど後ろの人が、「だいじょうぶですよ。ゆっくりおちついてやってください。」

と言っていました。ぼくは、こういう時はそういう言葉を使うのかと、心の中で思いました。

次の日にコンビニに行くと、きのうのおばあさんがレジでお金をはらっているところでした。おばあさんが、「おそくてごめんね。」と言いました。ぼくは、きのうのことを思い出して、「おちついてやってください。」

と言いました。やさしい言葉をかけることができ、うれしい気持ちになりました。おばあさんもうれしかったかなと考えると、明るい気持ちで一日すごすことができました。

それからぼくは、ぎんこうのATMやお買い物の時に、「だいじょうぶですよ。気にしないで。」とよびかけられるようになり、一つせいいました。これからも周りの人ときょう力をすごしていきたいです。



※学校・学年は受賞当時のものです